



パーソルホールディングス株式会社

2020年3月期第1四半期決算説明会（電話会議）

2019年8月9日

イベント概要

[企業名]	パーソルホールディングス株式会社		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2020年3月期第1四半期決算説明会（電話会議）		
[決算期]	2019年度 第1四半期		
[日程]	2019年8月9日		
[ページ数]	18		
[時間]	17:30 - 18:00 (合計：30分、登壇：16分、質疑応答：14分)		
[開催場所]	107-0062 東京都港区南青山 1-15-5		
[会場面積]			
[出席人数]			
[登壇者]	1名 取締役執行役員(財務担当)	関 喜代司（以下、関）	
[アナリスト名]*	SMBC 日興証券株式会社 ゴールドマン・サックス証券株式会社 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	織田 浩史 中原 成美 新井 勝己	

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

登壇

司会：お聞きの皆様、大変長らくお待たせいたしました。これよりパーソルホールディングス株式会社の2020年3月期第1四半期決算に関する電話会議を開催させていただきます。それではパーソルホールディングス様、よろしくお願いいたします。

話者：本日は当社電話会議にご参加いただきありがとうございます。本日の進め方です。まず取締役執行役員の関より2020年3月期第1四半期決算概要についてご説明します。説明に使用されております資料は、当社のホームページに既にアップロードされています2020年3月期第1四半期決算連結決算概要をお手元にご準備の上ご参加願います。説明終了後、質疑応答に移りたいと思います。なお、会議の終了時刻は18時を予定しておりますので、皆様、ご協力のほどお願いいたします。それでは関よりご説明申し上げます。

関：パーソルホールディングスの関でございます。よろしくお願いいたします。まずは私どもの資料をご覧ください。

まず連結業績について説明申し上げます。グローバルにおいては、引き続き貿易摩擦の影響などの影響から、先行きの不透明感が高まってきております。製造業の一部領域において昨年と比べて需要の弱さがございますが、日本の労働市場においては構造的な人手不足を背景にグループ全体としては、目立ったリスクはなく、業績はおおむね計画どおり推移しております。今後の経済動向については国内及び海外を含めて引き続き注視して事業運営をしていきます。

先日、8月1日に発表させていただいたアルバイト求人情報anのサービス終了につきましては、終了に伴う短期的な業績インパクトがある一方で、正社員領域の「doda」事業を成長させる「前向きな決定」であったという点が市場にも伝わったのではないかと考えております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasias.com



2020年3月期 第1四半期 連結業績サマリー



既存事業の安定成長とM&A効果により、売上高は+4.1%の増収
利益面では主に派遣事業における稼働日影響（YoY▲3日、約▲10億円）、新卒含めた人員増強による
コスト増等により減益

(単位：百万円)

	2019年3月期		2020年3月期			2020年3月期 業績予想*		
	1Q	構成比 (%)	1Q	構成比 (%)	成長率 (%)	上期進捗率 (%)	上期	通期
売上高	225,929	100.0	235,218	100.0	+4.1	48.7	482,500	990,000
売上総利益	50,604	22.4	53,826	22.9	+6.4	-	-	-
EBITDA*	15,401	6.8	14,416	6.1	△6.4	48.5	29,700	61,000
営業利益	11,530	5.1	10,057	4.3	△12.8	48.4	20,800	43,000
親会社株主帰属 当期純利益	6,631	2.9	5,466	2.3	△17.6	56.9	9,600	21,700
【参考】のれん償却前 当期純利益*	8,787	3.9	7,600	3.2	△13.5	54.7	13,900	30,300

*億円、百万円未満は切捨てて表示しております（次ページ以降同様） *EBITDA = 営業利益+減価償却費+のれん償却額（次ページ以降同様）

*のれん償却前当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益+のれん償却額

*2020年3月期 業績予想は2019年8月1日修正後の予想となります

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

1

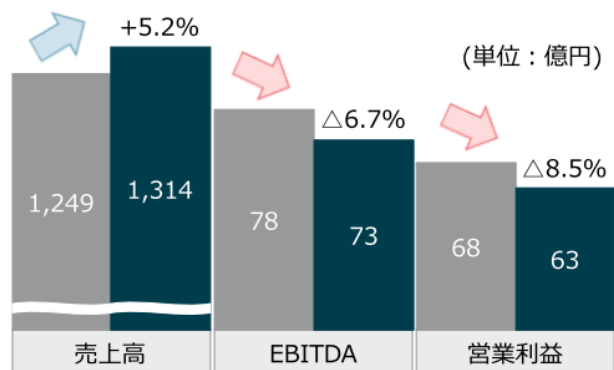
第1四半期の連結業績は売上高が1クォーターYoYでプラス4.1%の増収となりました。営業利益につきましては、1クォーターYoYでマイナスの12.8%の減益となりました。営業利益の主な減益要因は当初想定したとおり、派遣事業におきまして稼働日が3日少なかったことと、新卒含めた人員増強に伴うコスト増によるものでございます。各セグメントの詳細につきましてはセグメント別業績パートで詳しくご説明申し上げます。以上が連結業績パートとなります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasiasia.com



2020年3月期 第1四半期 セグメント別業績推移① 派遣・BPOセグメント



2020年3月期 1Q ハイライト

- 年号変更に伴う5月の長期休暇による稼働日減が発生（前年比▲3日）
- 稼働日影響はあったものの、構造的な人手不足を背景とした需要の強さに加え、M&A効果により増収（アヴァンティスタフが前期4Qより業績反映開始）
- 請求単価UPによる収益性改善は継続も、稼働日影響や人員増強に伴うコスト増により減益

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期		2020年3月期 業績予想		
	1Q	1Q	成長率 (%)	上期進捗率 (%)	上期	通期
売上高	124,940	131,429	+5.2	49.5	265,600	549,000
EBITDA	7,835	7,310	△6.7	53.8	13,600	30,400
EBITDAマージン(%)	6.3	5.6	-	-	5.1	5.5
営業利益	6,897	6,311	△8.5	53.9	11,700	26,500
営業利益率(%)	5.5	4.8	-	-	4.4	4.8

*数値は内部取引消去前となります

*数値の詳細につきましては、同日HPにて公開しております「2020年3月期 第1四半期 ファクトブック」をご参照下さい

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

9

ページ変わりました、9ページをご覧ください。セグメント別にご説明申し上げたいと思います。まずは、派遣・BPOセグメントについてご説明申し上げます。派遣・BPOセグメントの売上高は、1クォーターYoYで5.2%の増収となりました。こちらをKPIに分解いたしますと、稼働者数におきましてプラス3.5%、単価アップにおきましてプラス2.7%、稼働日の影響がマイナス4.8%、M&Aの効果プラス3.4%という結果となっております。営業利益につきましては1クォーターYoYでマイナス8.5%、営業利益率はマイナス0.7ポイントとなりました。

派遣事業に関しましては、年号変更に伴う5月の長期休暇により、稼働日が3日少なかった結果、営業利益は63億1,100万円となりました。ただし、需要サイドにつきましては引き続き企業様からのオーダーが2桁を超える勢いで伸びております。製造業の企業様からの派遣のオーダーが若干減少しておりますが、企業全体で考えますと、やはり需要の強さは変わっておりません。利益面につきましては、引き続き無期スタッフの請求単価が約10%向上したことで、利益率は改善いたしました。

また一方、稼働日影響に伴う利益の減および人員増強によるコスト増により、1クォーターとしては減益となりました。なお、2019年4月に開始しました久留米マッチングセンターにおきましては、6月より西日本エリアのマッチング業務を開始しており、今後さらなる生産性向上に寄与でき

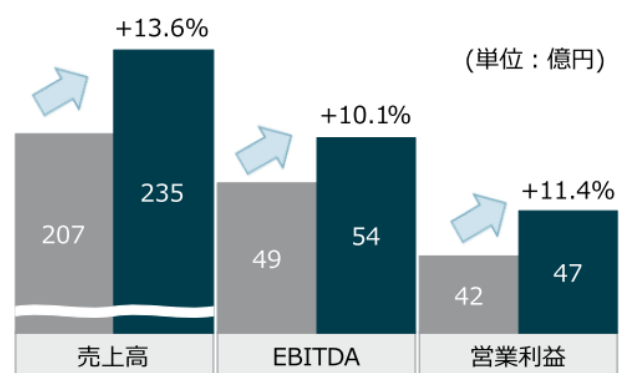
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasias.com



と考えております。また、今期も積極的に進めている派遣スタッフの無期雇用化ですが、4～6月におきまして、約1,700名の無期転換が進みました。昨年からの累計で申し上げますと、約1万2,000名となっております。なお、今期中の無期転換につきましては、約5,000名を見込んでおりますので、足元につきましては計画どおりに進捗しております。以上が派遣・BPOセグメントのパートとなります。

2020年3月期 第1四半期 セグメント別業績推移② リクルーティングセグメント



2020年3月期 1Q ハイライト

- 引き続き顧客企業における旺盛な需要と若年層を中心とした転職に対する意識の変化を背景に、正社員向け人材紹介および求人広告事業が業績を牽引
- 旺盛な需要に対応すべく人員増強等に伴う費用増があったものの、増収効果により増益
- 前期までの組織急拡大に対応すべく、体制整備が課題
- アルバイト求人情報「an」サービス終了を決定（8/1発表）

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期		2020年3月期 業績予想*		
	1Q	1Q	成長率 (%)	上期進捗率(%)	上期	通期
売上高	20,738	23,549	+13.6	51.2	46,000	89,000
EBITDA	4,915	5,414	+10.1	53.6	10,100	17,400
EBITDAマージン(%)	23.7	23.0	-	-	22.0	19.6
営業利益	4,222	4,703	+11.4	57.4	8,200	13,400
営業利益率(%)	20.4	20.0	-	-	17.8	15.1

*数値は内部取引消去前となります

*2020年3月期 業績予想は2019年8月1日修正後の予想となります

*数値の詳細につきましては、同日HPIにて公開しております「2020年3月期 第1四半期 ファクトブック」をご参照下さい

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

10

次に10ページをご覧ください。リクルーティングセグメントについてご説明申し上げます。リクルーティングセグメントにつきましては、国内の転職市場が拡大するなか、引き続き正社員向け人材紹介事業と求人広告事業が業績を牽引し、売上高につきましてはYoYでプラス13.6%の増収となりました。dodaプラスにつきましても変わらず高成長を継続しており、旺盛な需要にしっかりと対応できていると考えております。企業様からの受注や転職者様からの登録を見ましても、高成長を継続しており、人材紹介事業におけるマーケット観に大きな変化はなく、市場環境は引き続き良好と考えております。

一方で、当社内の組織コンディションとしましては、ここ数年続けてまいりました急成長に伴い、マネージャー層の人材が不足しております。また併せまして、10月以降におきましては、an事業の人員受け入れが本格化するため、当面組織体制の強化が私どもの大きな課題となってきます。こ

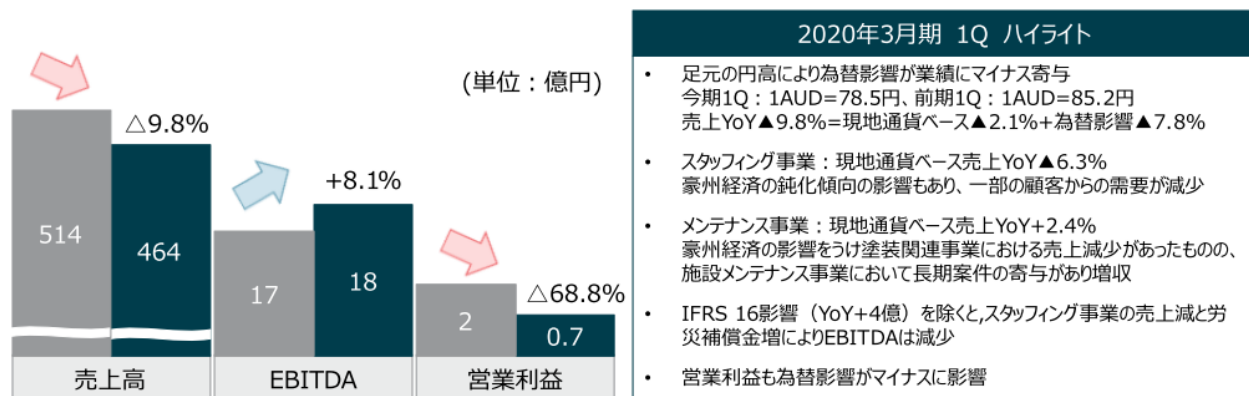
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasias.com



の下期に集中して組織強化に取り組み、来期の高成長につながるよう運営してまいりたいと考えております。また8月1日に発表させていただきましたan事業の終了につきまして、発表後につきましては大きな混乱もなく順調にお客様、代理店様への対応を進めている状況でございます。引き続き10月以降の人事異動等に対する準備をしっかりとまいりたいと存じます。以上がリクルーティングセグメントのパートとなります。

2020年3月期 第1四半期 セグメント別業績推移③ PROGRAMMEDセグメント



(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期		2020年3月期 業績予想		
	1Q	1Q	成長率 (%)	上期進捗率(%)	上期	通期
売上高	51,495	46,444	△9.8	46.2	100,500	204,000
EBITDA	1,752	1,893	+8.1	46.2	4,100	8,400
EBITDAマージン(%)	3.4	4.1	-	-	4.1	4.1
営業利益	234	73	△68.8	24.4	300	1,000
営業利益率(%)	0.5	0.2	-	-	0.3	0.5

*数値は内部取引消去前となります

*数値の詳細につきましては、同日HPにて公開しております「2020年3月期 第1四半期 ファクトブック」をご参照下さい

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

11

続きまして11ページをご覧ください。PROGRAMMEDセグメントにつきましてご説明申し上げます。まず、売上高につきましては1クォーターでYoYマイナス9.8%、営業利益につきましてはマイナス1.6億となっております。売上高YoY9.8%の減収につきましては、うち、為替の影響でマイナス7.8%、現地通貨ベースでマイナス2.1%となっております。現地通貨ベースの各事業の実績につきましては、スタッフィング事業におきましてマイナス6.3%、メンテナンス事業におきましてはプラス2.4%となっております。

スタッフィング事業におきましては、足元のオーストラリア経済の減速感により、顧客からの需要減や成長領域における新顧客開拓、それから営業活動の効果、こちらにつきましてはプランどおりに進まず減収となりました。一方で、メンテナンス事業におきましては、同じくオーストラリア経済の影響もあり、特にペインティング事業における売上減はあったものの、オーストラリア全体のイ

サポート

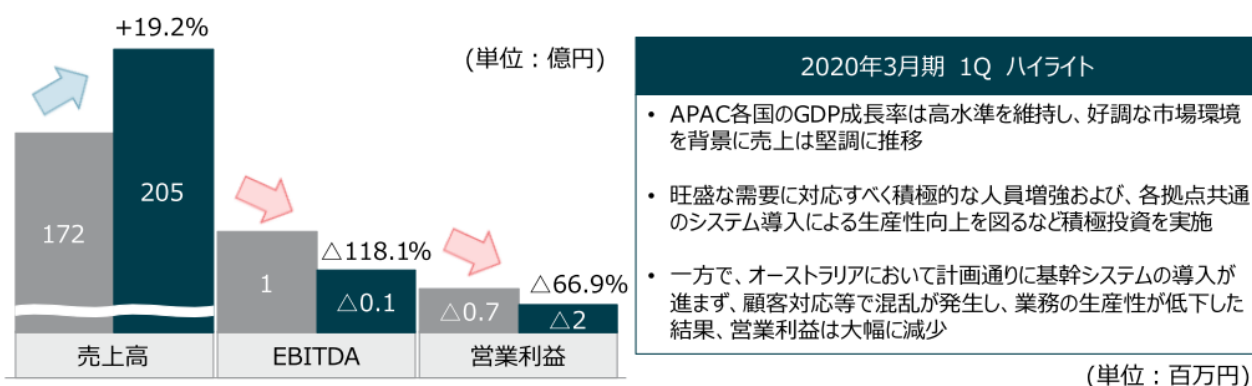
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasias.com



ンフラ投資の需要を背景に、大型の施設メンテナンス事業においては案件の獲得が進んでおり増収を上げることができました。

営業利益につきましては、主にスタッフィング事業の減収の影響により減益となっております。なお、EBITDAにつきましては、IFRS16の適用影響、YoYでプラス4億を除きますと、営業利益同様減益となっております。以上が PROGRAMMED セグメントのパートとなります。

2020年3月期 第1四半期 セグメント別業績推移④ PERSOLKELLYセグメント



(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期		2020年3月期 業績予想		
	1Q	1Q	成長率 (%)	上期進捗率(%)	上期	通期
売上高	17,254	20,568	+19.2	50.2	41,000	84,000
EBITDA	106	△19	△118.1	△2.8	700	1,500
EBITDAマージン(%)	0.6	△0.1	-	-	1.7	1.8
営業利益	△76	△230	△66.9	△57.5	400	1,000
営業利益率(%)	△0.4	△1.1	-	-	1.0	1.2

*数値は内部取引消去前となります

*数値の詳細につきましては、同日HPにて公開しております「2020年3月期 第1四半期 ファクトブック」をご参照下さい

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

12

次に12ページをご覧ください。PERSOLKELLYセグメントについてご説明申し上げたいと思います。引き続きAPAC各国の市場環境に支えられまして、売上はYoYでプラス19.2%と好調に推移いたしました。売上高につきましては、売上構成比の高いシンガポール、マレーシアが牽引し大幅に伸長しました。一方、オーストラリアを除くすべての地域におきましては、前年比で同じく成長いたしております。ヘッドカウントの数につきましても、YoYで12.2%増と順調に拡大しております。

一方、営業利益につきましては2.3億円の減益となりました。オーストラリアにおける各国共通の業務システム、こちらの導入につきまして計画どおりに進まないところがあり、顧客の対応等で混乱が発生し、業務の生産性が一時的に低下したため減益になったと考えております。

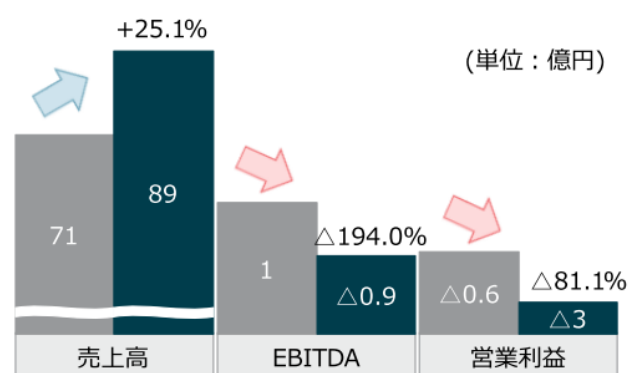
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



本システムトラブル、移行も含めてでございますが、影響をリカバリーすべく鋭意取り組んでおりますが、現時点では通期予算を達成するハードルは少し高まっていると考えております。なお、中国市場における米中摩擦の影響につきましては、主に中国における日系企業からのオーダーは前年割れとなっておりますが、非日系企業様におきましては引き続き需要が増加しております。こちらにつきましても引き続き、今後の動向を注視していきたいと考えております。また、補足になりますが、前年比の為替の影響につきましては、売上高においてプラス3億程度と軽微なものとなっております。

2020年3月期 第1四半期 セグメント別業績推移⑤ ITOセグメント



2020年3月期 1Q ハイライト

- 既存顧客企業におけるシステム関連サービス等への投資意欲は堅調推移
- SI関連サービス、アウトソーシングサービス等の高付加価値案件の増加に加え、自社プロダクトの販売も伸長し、増収
- 一方、社員の退職抑制にかかる待遇改善や新卒採用等のコスト増加により減益

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期		2020年3月期 業績予想*		
	1Q	1Q	成長率 (%)	上期進捗率(%)	上期	通期
売上高	7,181	8,986	+25.1	46.3	19,400	41,500
EBITDA	103	△96	△194.0	△9.7	1,000	2,900
EBITDAマージン(%)	1.4	△1.1	-	-	5.2	7.0
営業利益	△65	△345	△81.1	△49.4	700	2,200
営業利益率(%)	△0.9	△3.9	-	-	3.6	5.3

*数値は内部取引消去前となります

*2020年3月期 業績予想は2019年8月1日修正後の予想となります

*数値の詳細につきましては、同日HPIにて公開しております「2020年3月期 第1四半期 ファクトブック」をご参照下さい

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

13

次に13ページをご覧ください。ITOセグメントにつきましてご説明申し上げます。ITOセグメントの事業につきましては、おおむね計画どおりに進捗しております。売上高は、1クォーターYoYでプラス25.1%、営業利益につきましては1クォーターYoYでマイナスの2.8億となりました。

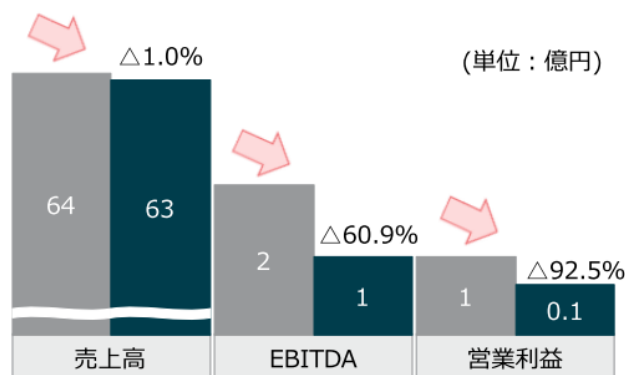
引き続きお客様企業におけるシステム関連サービス、こちらへの投資は非常に旺盛で、SIの事業、アウトソーシングサービスなどの高付加価値案件に加え、私どもの自社プロダクトの販売につきましても伸長し、増収となりました。営業利益につきましては2.8億の減益となっておりますが、こちらについては期初の計画どおりであり、待遇改善を実施したことにより、退職率は低下傾向でございます。以上がITOセグメントのパートとなります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



2020年3月期 第1四半期 セグメント別業績推移⑥ エンジニアリングセグメント



2020年3月期 1Q ハイライト

- 開発生産性向上などによる単価UP効果があったものの、家電/電機領域において中国市況の悪化に伴う減収により売上高は微減
- 市況は不透明な状況であり引き続き注視
- 利益面では新卒採用を中心に採用が順調に進捗した一方、市況変化に伴い生じた一時的な稼働率低下により、減益

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期		2020年3月期 業績予想		
	1Q	1Q	成長率 (%)	上期進捗率 (%)	上期	通期
売上高	6,439	6,373	△1.0	44.0	14,500	31,000
EBITDA	288	113	△60.9	8.1	1,400	3,500
EBITDAマージン(%)	4.5	1.8	-	-	9.7	11.3
営業利益	146	11	△92.5	1.0	1,100	3,000
営業利益率(%)	2.3	0.2	-	-	7.6	9.7

*数値は内部取引消去前となります

*数値の詳細につきましては、同日HPにて公開しております「2020年3月期 第1四半期 ファクトブック」をご参照下さい

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

14

次に14ページをご覧ください。エンジニアリングセグメントにつきましてご説明いたします。売上高は1クォーターYoYでマイナス1.0%、営業利益は1クォーターYoYでマイナス1.3億円となっております。こちらは主に電機の領域におきまして中国市況の悪化に伴う減収がございましたが、単価アップ等の効果で減収幅はマイナス1%にとどまりました。利益面につきましては、技術者の採用に伴う人件費等の増加や、市況変化に伴う一時的な稼働率の低下により減益となりました。

エンジニアの新卒採用を中心とした活動につきましては順調に推移しております。また当セグメントにおきましても、米中貿易摩擦の影響等について、やはり不透明な状況ではございまして、一部のお客様では受注減などの影響が出ております。こちらにつきまして、今後も市場の動向、お客様の動向については引き続き注視してまいります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasiasia.com



2020年3月期 第1四半期 セグメント別業績推移⑦ その他、調整額

(単位：百万円)

その他	2019年3月期	2020年3月期		2020年3月期 業績予想		
	1Q	1Q	成長率 (%)	上期進捗率(%)	上期	通期
売上高	1,418	2,486	+75.2	49.7	5,000	11,000
EBITDA	101	△142	△240.4	-	△600	△1,100
EBITDAマージン(%)	7.2	△5.8	-	-	△12.0	△10.0
営業利益	84	△196	△333.7	-	△600	△1,300
営業利益率(%)	5.9	△7.9	-	-	△12.0	△11.8

(単位：百万円)

調整額	2019年3月期	2020年3月期		2020年3月期 業績予想*		
	1Q	1Q	成長率 (%)	上期進捗率(%)	上期	通期
売上高	△3,539	△4,619	-	-	△9,500	△19,500
EBITDA	297	△56	-	-	△600	△2,000
EBITDAマージン(%)	-	-	-	-	-	-
営業利益	87	△268	-	-	△1,000	△2,800
営業利益率(%)	-	-	-	-	-	-

*数値は内部取引消去前となります

*2020年3月期 業績予想は2019年8月1日修正後の予想となります

*数値の詳細につきましては、同日HPにて公開しております2020年3月期 第1四半期 ファクトブックをご参照下さい

*「その他」は、グループ全体の機能別役割であるシェアードサービス、教育研修、隠れ雇用・就職支援等の人材サービスで構成しております

*「調整額」は、セグメント間取引消去、パーソルホールディングスの収益及び費用となります

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

15

次に15ページをご覧ください。その他、調整額についてご説明申し上げます。こちらについては期初に発表させていただきましたとおり、今期につきましては、シェアフル、ミイダス、POS+、その他の新規事業への投資を予定しており、結果、その他、事業調整額は減益となっておりますが、おおむね期初の計画どおりに進捗しております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasiasia.com

2020年3月期 第1四半期 連結貸借対照表



(単位：百万円)	2019年3月期末		2020年3月期 第1四半期末		
	実績	構成比(%)	実績	構成比(%)	増減額
資産	370,839	100.0	365,717	100.0	△5,122
流動資産	209,845	56.6	201,072	55.0	△8,772
(現金及び預金)	69,029	18.6	60,621	16.6	△8,407
固定資産	160,994	43.4	164,644	45.0	3,650
(商標権・のれん)	101,832	27.5	99,966	27.3	△1,865
負債	199,914	53.9	191,509	52.4	△8,404
流動負債	144,919	39.1	142,793	39.0	△2,125
(1年内返済予定の借入金)	15,045	4.1	24,611	6.7	9,565
固定負債	54,995	14.8	48,716	13.3	△6,279
(長期借入金)	25,748	6.9	15,728	4.3	△10,020
(社債)	20,000	5.4	20,000	5.5	0
純資産	170,925	46.1	174,207	47.6	3,282
自己資本	155,593	42.0	158,682	43.4	3,088
(資本金)	17,479	4.7	17,479	4.8	0
(資本剰余金)	20,396	5.5	20,396	5.6	0
(利益剰余金)	125,677	33.9	127,633	34.9	1,956
非支配株主持分	15,331	4.1	15,525	4.2	193

＜商標権・のれん＞
のれんの償却による減少

＜流動負債＞
未払法人税等および賞与引当金の減少

＜固定負債＞
長期借入金の減少およびIFRS16適用に伴うリース負債の増加

＜利益剰余金＞
利益増による増加

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

8

続きまして、ページは戻りますが8ページをご覧ください。バランスシートにつきましては、前年の期末から大きな増減はございませんでした。資産のマイナス50億の要因につきましては、主に現金及び預金が減少したことによるものでございます。負債のマイナス84億円の主な減少要因につきましては、未払法人税と賞与引当金の減少によるものでございます。純資産の32億円の増加は主に利益剰余金が19億増加したことによるものでございます。健全性を示します自己資本比率につきましては、前期末の42.0%から43.4%へ改善しております。

最後になりますが、当第1四半期連結業績につきましては、増収減益となりました。繰り返しになりますが、減益の要因といたしましては、派遣事業におけます稼働日のマイナスの影響、こちらがマイナス10億円に加え、PROGRAMMEDセグメントのスタッフィング事業の不調、それからPERSOLKELLYセグメントのシステム導入に伴う一時的な混乱が影響したものと考えております。

派遣のセグメントにおきましては、事業サイドに大きな変動はなく、稼働者数の積み上げ、請求単価のアップも達成できており、今後も業績につきましては順調に推移していくと予想しております。一方で、PROGRAMMEDセグメントやPERSOLKELLYセグメントにつきましては、第1四

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasiasia.com



半期のビハインドをリカバリーすべく鋭意取り組んでおりますが、業績の回復には一定の時間を要することが想定されております。



2020年3月期 連結業績予想（2019年8月1日修正後）

8/1のアルバイト求人情報「an」サービス終了に伴い連結業績予想を見直し

「an」事業終了に伴う影響のみを反映しており、既存事業の業績見直しは行っていない(単位：百万円)

	2020年3月期 予想					
	上期	構成比 (%)	成長率 (%)	通期	構成比 (%)	成長率 (%)
売上高	482,500	100.0	+6.7	990,000	100.0	+6.9
EBITDA	29,700	6.2	+5.3	61,000	6.2	+1.7
営業利益	20,800	4.3	+1.7	43,000	4.3	△2.5
親会社株主帰属 当期純利益	9,600	2.0	△19.9	21,700	2.2	△10.9
【参考】のれん償却前 当期純利益*	13,900	2.9	-	30,300	3.1	△8.1

*のれん償却前当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益+のれん償却額

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

16

今期の通期業績予想につきましては、8月1日にan事業の終了に伴い、業績予想の修正を行いました。修正後の営業利益430億の達成に向け、引き続き取り組んでまいりたいと思っております。以上、簡単ではございますが、本日の私からのご説明とさせていただきます、Q&Aのセッションに移らせていただきます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



質疑応答

司会：それでは最初のご質問者をご紹介します。しばらくお待ちください。最初のご質問は SMBC 日興証券織田様です。それでは織田様、お願いします。

織田：SMBC 日興証券の織田ですけれども、よろしく申し上げます。私からいくつか質問があるので一問一答でお願いできればと思います。まず、短期的なところで恐縮なんですけれども、国内の ITO ですとか、エンジニアリング、一応計画どおりの進捗ですというコメントをいただいているんですけれども。ぱっと見、上期の計画費に対しては若干ショートしているんじゃないのかなというような印象も受けたりもしているんです。上期あるいは通期に向けて、そこは本当に計画どおりなのでそんなに心配することがないのかどうかという、まず短期的なところの確認をさせてください。

関：ご質問ありがとうございます。ITO につきましては計画どおりでございますし、下期につきましても予定通り進捗すると想定しています。ただし、エンジニアリングセグメントにつきましてはやはり構造的なこともあり、下期含めましてやや不安要素はあろうかと思いますが、一定達成に向けては経営してまいりたいと考えております。

織田：わかりました。二つ目のところが海外のところになるので、まとめてご質問させていただきますけれども、まず PERSOLKELLY のところでのオーストラリアのシステムの話があったかと思います。通期のところ、少しハードルが高まるかもしれませんというお話があったんですけど、今現状、この混乱がまだ続いているのかどうか。現状のステータスと、それから、もし今も続いているんであったらそれがいつぐらいに解消して通常ペースに戻るのか。この辺りのスケジュール感について教えてください。

関：ご質問ありがとうございます。PERSOLKELLY のオーストラリアで発生しているシステムのトラブル、混乱についてですが、現時点でまだ完璧な終息までは至っておりません。現地に必要なリソースを配分してバックアップに努めておりますが、一定上期いっぱいはこのリカバリーと当初の巡航軌道に戻すのにかかるのではないかとこのように考えております。ただし、こちらで行うバックアップ、リカバリーについては今期、来期以降の成長に向けて必要なリカバリーでございますので、一定リソース配分もしながら進めてまいりたいというふうに考えております。

織田：わかりました。最後になるんですけれども、PROGRAMMED のところで、利益としては、営業利益は増益ではあるんですけれども IFRS の影響とかもある、そこは少し押し上げている部分

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



もあるのかなとは思っています。ここのところについて、現状はお話しいただいたんですけど、ガイダンスを出してまだ数カ月ぐらしかたっていないかなとは思ってなかで、ちょっとスタートから見通しがずれている。その辺りの要因について教えていただければと思います。お願いします。

関：はい、ありがとうございます。いくつか要因はあるんですけども、まずはオーストラリアの経済自体の伸びが直近 1.8%程度ということで、当初計画想定であった 2%をやや下回っているというのが大きなマクロ的なものと考えています。それから、スタッフィング事業ですね。こちらを立て直すために、今期の頭からマーケティング、営業リソースの再配分等含めてやっておるんですが、一定、中堅中小企業の顧客の開拓と案件発掘、ここの行動をきちんと当初の行動量を担保し、かつ成果を上げるところまで、成果が上がっていないと考えておまして、これらが当初の計画どおりに進んでいない二つの要因かなと考えております。

織田：わかりました。私からは以上です。

関：ありがとうございます。

織田：ありがとうございます。

司会：次のご質問はゴールドマン・サックス証券中原様です。それでは中原様、お願いいたします。

中原：お世話になっております。中原です。お願いいたします。私からも 3 点お願いいたします。まず 1 点目なんですけれども、派遣事業のところ以前、PMI コストを年間で 10 億円と、あとは働き方改革にかかるようなコストが今年かかってきますよというふうに伺っているんですけども、その進捗状況は 1Q でどうなのかというのと、あと 2Q 以降、計画どおり出そうかというところをまず教えていただけますでしょうか。

関：ご質問ありがとうございます。先ほどご質問の中でお話しいただきましたように、PMI、働き方改革のコストですが、予定どおり年間では 10 億ほど見込んでおります。1 クォーターの実績で 2.3 億円でございます、おおむね計画どおりというふうな進捗でございます。

中原：これは、四半期ごとに同じぐらいのペースで出るようなイメージで持っておいていいでしょうか。

関：はい、そのとおりのご認識でよろしいかと思います。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



中原：どうもありがとうございます。2点目なんですけれども、リクルーティング事業の中の人材紹介というのを切り出した場合に、成長率、今回はどれぐらいだったかを切り出して教えていただけますでしょうか。

関：人材紹介のサービスのみを切り出した場合、成長率は18.2%の成長率であります。

中原：これは御社が期初に計画されている中で進捗としてはいかがですか。

関：計画どおりの進捗というふうに考えております。

中原：どうもありがとうございます。最後なんですけれども、今回新規事業に対して25億円のコストという感じでご計画を立てられているかと思うんですけれども、こちらのコストもおしなべてクォーターごとに同じようなバランスで出てくるというふうに見ておいていいのか、どこかでアクセルを踏むようなタイミングが来るのか、イメージを教えてくださいいただけますでしょうか。

関：ご質問いただきましたとおり、年間、P/Lベースで25億の投資という計画を立てています。まずは、計画の進捗についてですが、全体の行動量それからコストの増加量としましては、上半期よりも下半期のほうがやや多めに積んで、全体計画を進捗させています。1クォーターの実績を見る限りにおきましては、やや計画よりもコストがいまいち使い切れていない部分がまだ残っております。ただ、この領域につきましては今期の成長戦略の非常に重要な要素でございますので、ここからの投資につきましては続けてまいりたいと考えております。

中原：わかりました。仮に、今期出されている計画が他のビジネス等で少し厳しさを増した場合に、ここの新規事業へのコストというのは抑えるようなことはあるのでしょうか。

関：ありがとうございます。こういった新規サービス、新規事業に対するコストでありますとか、その他のブランド等の、プロモーションコスト等につきましても、当然全体の案件、業績、それから成果に見合った形でバランスをしながら判断して進めてまいりたいと思っています。

中原：よくわかりました。どうもありがとうございます。

関：ありがとうございました。

司会：次のご質問は三菱UFJモルガン・スタンレー証券新井様です。それでは新井様、お願いします。

新井：よろしく申し上げます。

関：よろしく申し上げます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



新井：第1四半期、冒頭で全体としては計画どおりの進捗というコメントだったかと思うんですが、そうしますと、上期の計画から差し引きしますと第2四半期が売上で9%増収ですかね。営業利益でいきますと2割増益ぐらいという形になるかと思うんですが、この辺りの短期的なところですけど、2クォーターのところでイメージに関して教えていただければと思います。よろしくお願いします。

関：ご質問ありがとうございます。只今ご質問内容でおっしゃっていただきましたとおりの認識でございます。当然、計画どおりではございますが、ただ一方で一部だけ計画、想定外だったのが為替の変動要素、これが1クォーターの特にトップラインにつきましては影響があったと考えております。

新井：営業利益のところに関しての差し引きの、売上に関して今為替のところが、というお話がありましたけど、営業利益のほうに関して同じように2クォーターの差し引きの計画に対してはどんなふうに見ていらっしゃるのでしょうか。

関：そうですね。1クォーターにつきましては、今おっしゃられた20%増ということがありましたけど、計画どおり、10億ほどインパクトがありましたけど、2クォーターについてはそこまでの影響はないと考えております。

新井：わかりました。どうもありがとうございます。

関：ありがとうございます。

司会：ご質問希望者はいらっしゃいません。関様、よろしくお願いします。

関：それでは以上で質疑応答を終了させていただきます。皆様、本日はご参加いただきどうもありがとうございました。

司会：以上をもちまして、パーソルホールディングス株式会社の2020年3月期第1四半期決算に関する電話会議を終了させていただきます。本日はお忙しいなかお集まりいただき誠にありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasias.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasias.com

